

地図を使って アプリの幅を広げよう

GPSやWi-Fi, 3Gでの位置情報取得ができるようになったら、地図に反映させてみたくなるのは当然です。Google MAPのAPIを利用すれば簡単に地図情報を扱ってアプリの幅が広がります。

山本 隆一郎

前章ではLocationManagerを使ったGPSの利用方法を解説しました。今度は、WebのGoogleMapのようにAndroid端末上に地図を使って表示する方法を紹介します。AndroidやiPhoneは、アプリで容易にGoogleの地図情報を扱えるのは魅力です。これを使うと、位置情報を活用した楽しく使いやすいアプリが開発できます。

プログラムの作成

それでは、早速プログラムを作成しながら手法を学んでいきましょう。

表1の構成でプロジェクトを新規作成します。Build Targetが第1章のようにAndroid 2.3.3でなく、その次の行にあるGoogle APIsのplatform 2.3.3を選択している点が加速度センサやカメラ、GPSと異なります。GoogleMapのようなGoogle独自のライブラリを使用するには、Android 2.x.xのプラットフォームではなく、これらのライブラリ

を含むGoogle APIsを指定する必要があります。

Google APIsはAndroid SDKのインストール時にすべてのライブラリをインストールした場合は、選択対象に表示されています。見当たらない場合には、C:\androidにあるSDK Manager.exeを起動して図1のように必要なバージョンを選択してインストールします。SDK Manager.exeのVirtual devicesで、対応したエミュレータのAVD(Android Virtual Device)を作成するのも忘れてください(図2)。

プロジェクトの新規作成ができたなら、src/パッケージ名にあるMyMap

Activity.javaを編集します。

本誌Volume.1や第1章で紹介したように、HelloWorldの不要なStringリソースとTextViewを削除したら、最初にActivityを変更します。各種のセンサを利用する場合、Activityは変えずにimplementsで拡張を行ってききましたが、Googleマップを使用する場合には標準のActivityのままでは実現できません。MapActivityという特別なクラスに変更する必要があります。

図3のように基底クラスをMapActivityに変更すると、MapActivityが波線表示になるので、内容を確認してEclipseの機能でMapActivityをim

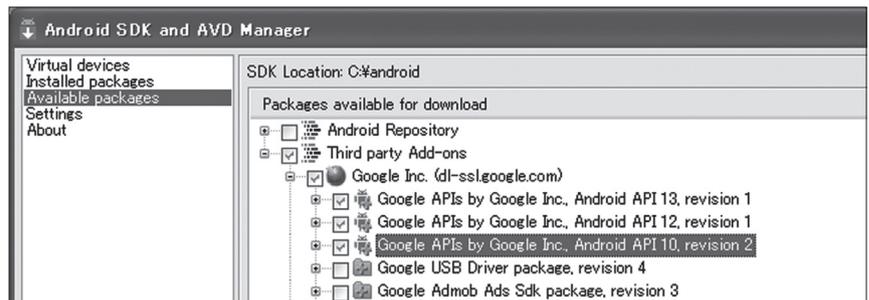


図1 SDK Manager.exeでGoogle APIsを追加インストール

表1 MyMapのプロジェクトを新規作成

Project Name	MyMap
Build Target	Goole APIs(platform 2.3.3)
Application Name	My Map
Pakckage Name	jp.co.cqpub.MyMap
Activity Name	MyMapActivity
Min SDK Version	4

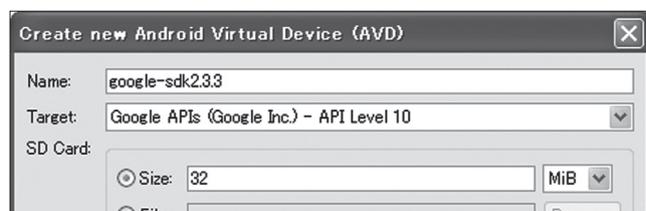


図2 Google APIsのAVDを作成